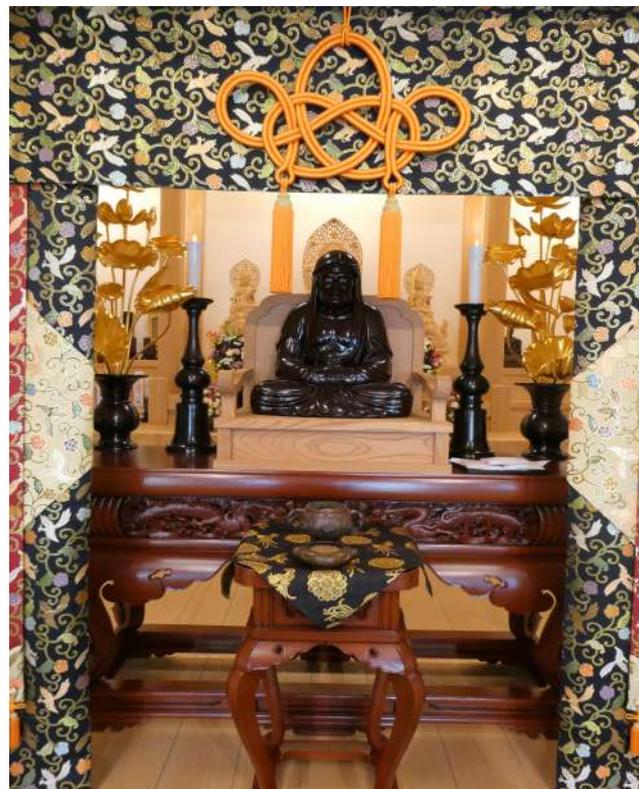




だるまさま

10月5日は『だるまさま』こと、菩提達磨大師（ぼだいだるまたいし）の命日です。
園では10月17日(火)にお寺にてお参りをしました。



達磨大師はみなさんが生まれるずっと前に沢山修行をした偉いお坊さんです。
そのお坊さんのことを思い出すために年に一度このように集まり、お経を読んでお参りを
する。それが『だるまさま』です。

皆さんは『何かをしてあげたのだから、何かをしてもらいたい』と思うことはありませんか？

達磨大師は『喜んでもらえただけで十分』と見返りを求めない方でした。
なかなか出来ることではないかもしれませんが。
しかし一人一人が少し意識をしてみるだけで、より一層笑顔の溢れる世界になっていくの
ではないでしょうか。
そして、何事も損得で考えるより楽しみながら行うことが大切です。

一生懸命何かに取り組むということは全て修行になるという教えがあります。
達磨大師は9年間坐禅を続け、悟りを開きました。
例えば挨拶、お掃除、歯磨き...一生懸命取り組めば立派な修行となります。
すると周りのみんなもそれを見て楽しく頑張ろうと思うのです。

達磨大師の教えのように自分だけのために頑張るのではなく、家族やお友達、周りの人た
ちのために楽しみながら頑張れる素敵なお兄さんお姉さんになって欲しいと思います。

ちなみに...

縁起物の『だるま』は達磨大師が赤い衣（緋色の法衣）を纏い坐禅している姿を模したものです。
禅宗の開祖である達磨大師の位の高さや『だるま』の定番色が赤い理由がここから伺えます。

インドの王子として生まれました。
仏教を学び、僧侶としてインドから
中国へ禅を伝えました！

